

## 2年 教材名 「スイミー」



【写真1】挿絵の並び替えの様子

本授業の目標は、「スイミー」のあらすじを、「はじめ-きっかけ-終わり」を使って表現することができることとしました。

授業では、まず、黒板に提示した挿絵を、話の順に並べ、子どもたちに場面の様子や登場人物の行動などの前時の学習をふり返らせ「スイミー」の話の大体をつかませました。

そして、今学習している「スイミー」のお話を、できるだけ短く人に伝える

としたら、どのように伝えるのかを考えさせました。初めと終わりを伝えることが最も短い文となりますが、それだけでは物語のおもしろさが伝わらないことをおさえ、物語を、「はじめ-きっかけ-終わり」として捉える方法を学んでいきます。

そのために、物語のきっかけとなる挿絵を黒板の下に移動し、本文を確認しながら、スイミーが住んでいた世界と仲間と出会う世界が違うことを捉えさせ、物語の構造が「はじめ-きっかけ-終わり」になっていることをおさえました。写真2は、発表を工夫して、教師にだけ小さな声で答えさせ、みんなにはヒントを言うことで、少しずつ意見を広げ、すべての子どもに考えを理解させていく様子です。



【写真2】発表の工夫

次に、学習用語「あらすじ」を学び、物語のあらすじを表現する方法の一つとして、「はじめ-きっかけ-終わり」を使って表す方法を知らせ、考えた文をペアで確認しました。

最後に、大人の人に伝える場合と小さな子どもに伝える場合では伝え方が変わることを確認し、伝える人によって、あらすじの伝え方が変わることも学習しました。



【写真3】授業の板書

